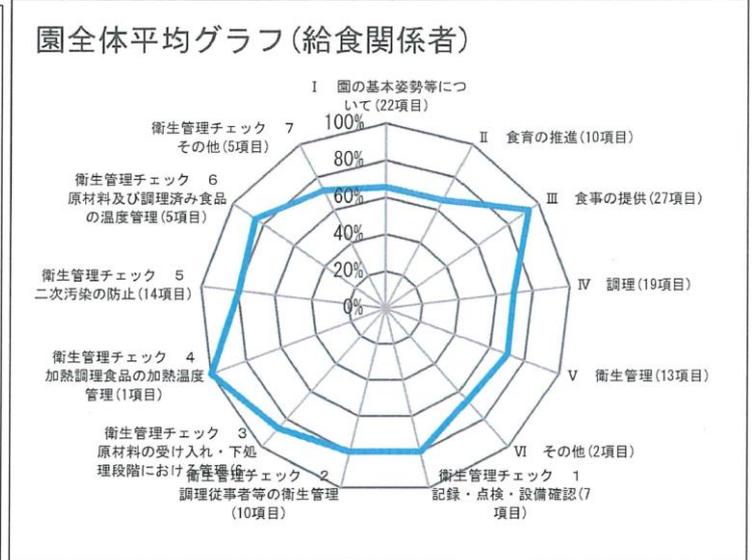
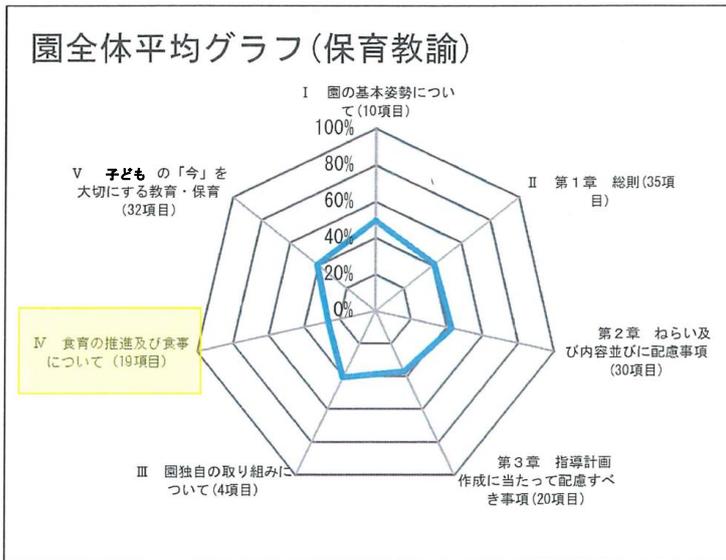


平成28年度 自己チェック結果報告

第1回目 結果(7月)



※保育教諭の資質向上の為チェックを厳しくしております。

園全体の課題 → 食育の推進

考えられる原因…給食室や食育担当者任せになっていた。

また職員自身も「食育」に対する知識が不足していた。



職員で話し合いを行い、次期(3月)までの改善策を立案する

次期までの改善策

まずは各年齢に合った食事環境の見直しをする。
本などを参考にしながら職員自身の知識を深めていく。

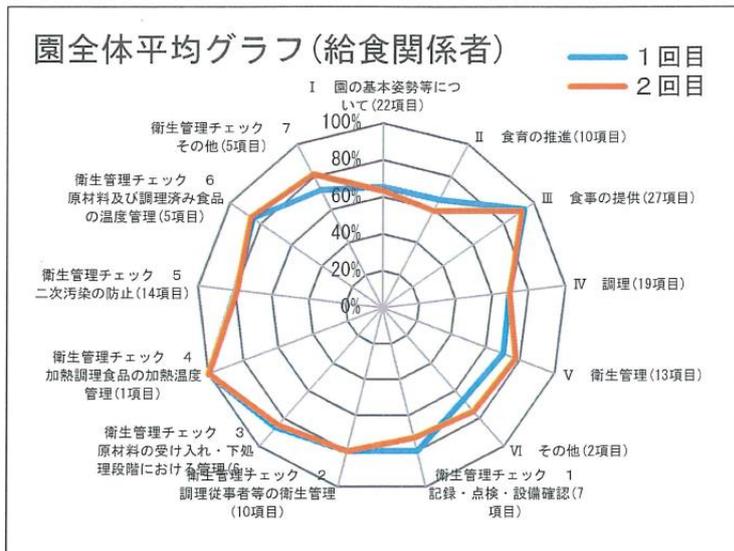
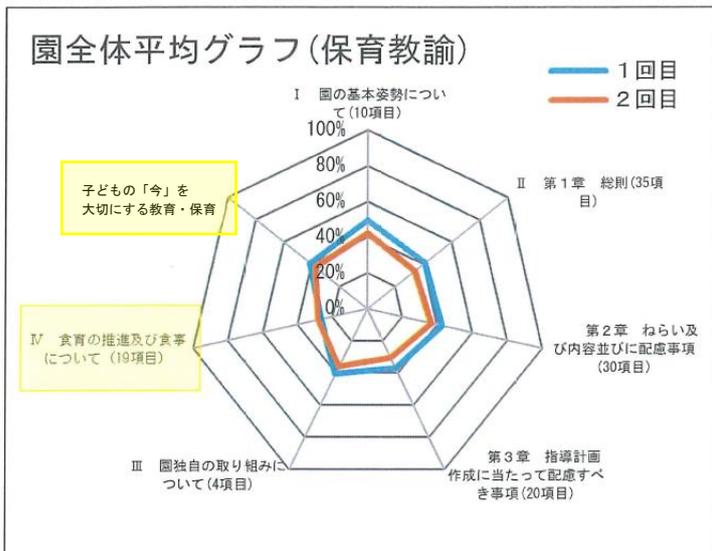
職員の取り組み

教材の活用(絵本やペーパーサート等)

人的環境の見直し

(職員自ら進んで「おいしく」「楽しく」食べる姿を見せていく)

第2回目結果（3月）



※保育教諭の資質向上の為チェックを厳しくしております。

食育へ対する取り組みを行った結果

各年齢にさまざまな工夫した事で
食事に対する職員の意識が変化した

まだまだグラフの落ち込みがあるため継続的に進めて行く

子どもの

新しい課題 → 「今」を大切にする教育・保育

考えられる原因…受けとめているつもりになっていた。

受け止めるいう意識に欠ける。

気持ちに余裕が持てず、大人の都合に合わせた対応になっていた。

職員で話し合いを行い、次期（来年度）までの改善策を立案する

次期までの改善策

具体的な行動目標を各自が策定(遊び込む、目線を合わせる、丁寧な対応)
室内環境の見直し

来年度への課題【食育】

- ・ 職員間の連携（保育と給食室）
- ・ 食育計画の見直し
- ・ 子どもの発達年齢に合った「食育」活動の実践
- ・ 職員自身の研鑽

来年度への課題【今を大切にせる教育・保育】

- ・ 一人ひとりに合わせた発達の理解
- ・ 信頼関係の再構築